

# 1

さあ主にささげよう感謝の歌を  
 さあ主にささげよう感謝の歌を

ハレルヤ ハレルヤ 力のかぎり  
 ハレルヤ ハレルヤ 主に捧げよう

さあ主のみ前で喜びおどろう  
 さあ主のみ前で喜びおどろう

## 大いなる方に

F C/F Dm Am  
 大いなる方に 感謝ささげます  
 Bb F/A Eb C7  
 御子キリストの 愛のゆえに  
 F C/F Dm Am  
 聖なる方に賛美ささげます  
 Bb F/A Eb C7  
 御子キリストの愛のゆえに

Am Dm Gm Bb/C C  
 今 弱いものよ 叫べ 勇士だと  
 Fmaj7 Dm Eb C7  
 勝利の主が ともにおられる  
 Am Dm Gm Bb/C C  
 今 貧しいものよ 叫べ富んでいると  
 Fmaj7 Dm Eb C7  
 恵みの主がともに おられる  
 F Bb F  
 感謝します

## 主の前にひざまづき

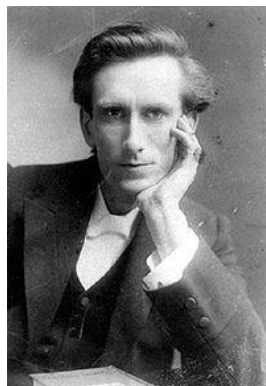
F Am  
 主の前に ひざまづき  
 Bb F C  
 心から賛美ささげる  
 Bb C/Bb AmDm Gm C7 F  
 あなたはとこしえに わたしの神

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。



## オズワルド・チェンバース Oswald Chambers

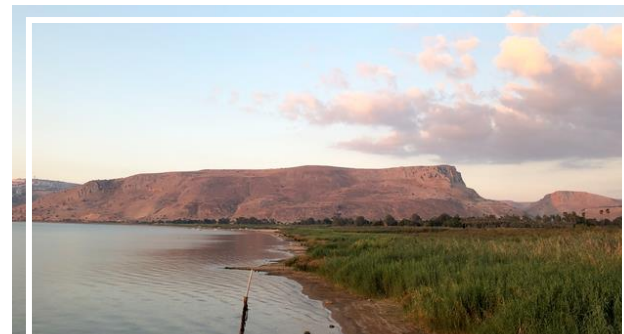
1874-1917(43歳で召天)  
 スコットランド出身  
 バプテスト派の伝道者・教師・説教者

牧師の子どもとして生まれ、C.H.ス  
 ポルジョンのメッセージで回心し、1  
 6歳で洗礼を受ける。音楽と美術  
 の才能に恵まれていた。F.B.マイヤ  
 ーの影響を受け、中田重治と出  
 会い、来日経験もある。

37歳で、ロンドンに**バイブル・トレーニング・カレッジ**を創設。あらゆる年齢、階級、教育の人を教え、4年間106名を教え、40名が宣教師として派遣された。霊性の深い油注がれた説教は世界に影響を与えた。著書「いと高き方のもとに」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



●写真上:ガリラヤ湖畔のアルベル山、その麓にミグダ  
 ル(マグダラ)という村がある●写真・中と下:ミグ  
 ダルで2009年に発見された1世紀のシナゴグの  
 跡。遺跡にはマグダラ・センターが建てられている。

## 祈りの小径(こみち)

Number:056 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マルコによる福音書16章15-18節

9〔週の初めの日の朝早く、イエスはよみがえって、まずマグダラのマリヤに御自身をあらわされた。イエスは以前に、この女から七つの悪霊を追い出されたことがある。10 マリヤは、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいる所に行き、それを知らせた。11 彼らは、イエスが生きておられる事と、彼女に御自身をあらわされた事とを聞いたが、信じなかった。12 この後、そのうちのふたりが、いなかの方へ歩いていると、イエスはちがった姿で御自身をあらわされた。13 このふたりも、ほかの人々の所に行き話したが、彼らはその話を信じなかった。14 その後、イエスは十一弟子が食卓についているところに現れ、彼らの不信仰と、心のかたくなな事をお責めになった。彼らは、よみがえられたイエスを見た人々の言うことを、信じなかったからである。

15 そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。16 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。17 信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らはわたしの名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、18 へびをつかむであろう。また、毒を飲んでも、決して害を受けない。病人に手をおけば、いやされる」。

マルコによる福音書11章19-24節

22 イエスは答えて言われた、「神を信じなさい。23 よく聞いておくがよい。だれでもこの山に、動き出して、海の中にはいれと言ひ、その言ったことは必ず成ると、心に疑わないうで信じるなら、そのとおりに成るであろう。24 そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかねえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりに成るであろう。

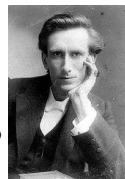
## 3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

出エジプト記33章18節 モーセは言った、「どうぞ、あなたの栄光をわたしにお示してください」。

私たちは祈るとき、動かしてしまいたい  
と思っている山のことばかりを考えて、  
その山を動かすことのできる神に、  
思いを集中していないのでないですか？

オズワルド・チェンバース



## 4 みことばの解説

あなたの栄光を示してください！  
Show us Your Glory!



神の栄光は、十字架と復活に現わされました。神の栄光を見たい！と願う人は、十字架と復活の真実を渴き求め、「信じること」が求められます。イエス様ご自身、ラザロの墓の前でこう言われました。

「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、  
あなたに言ったではないか」ヨハネ11の40。

復活の朝を思うと、弟子たちがどれほど復活の事実を信じる事ができなかったか見ることができます(マルコ16の11・13・14)。イエス様はそんな弟子たちを叱られました。彼らの不信仰は「心が頑な」であったからだとあります。常識や自然法則は大切なものですが、創造主なる神様は、この地球と歴史のすべての枠を超えて大きな御方です。固定観念や決めつけによって神様を制限しないように気を付けたいものです。

イエス様は不信仰な弟子たちに「お構いなし！」に、大宣教命令を語り、信じる者に伴うしるしと不思議を約束されました。イエス様こそ、弟子たちは「どうせ信じない」などと決めつけず、彼らが世界をひっくり返す、使徒たちとして活躍することを「信じて」いたのです。

今日もイエス様が語られた約束を「信じて」祈りたいと思います。

●全世界に出ていって福音を宣べ伝える

→信じて BP を受ける者は救われる・世界宣教の実現

●イエス様の名前で悪霊を追い出す

●新しい言葉を語る

●へびをつかむ

●毒を飲んでも害を受けない

●病人に手をおけば癒される

●山を動かすことができる(マルコ11の23)



ただ、オズワルド・チェンバース師の言葉にあるように、いつも私たちの全集中を、山を動かすことのお出来になる神様に向けてゆきたいと思わされます！